

# 外国人実習生の労災死 日本人の2倍以上!

## 外国人労働者を「奴隷扱い」してはいけない!

文責・HN【オニヤンマ】

◆「入管法改正案」が11月27日に衆議院本会議を通過し参議院に送られました。政府与党は、12月10日に終わる今臨時国会で成立させるとしています。しかし、この法案には重大な問題があります。

◆①外国人労働者を増やすために新しく設けられる「特定技能1」と「特定技能2」の「技能の内容」があいまいです。②全体で何人増やすかについて、首相の答弁(34万5千人程度が上限)と法相の答弁(現時点での数字だ)が食い違っています。③対象が14業種だとされていますが、どの業種に何人か不明です。④現在の「技能実習生」(約27万4千人)を「特定技能1」に移行させる予定だそうです。技能実習生の失踪者が2011年の1,534人から2017年の7,089人に増え、今年既に半年で4,279人になっていることへの原因調査がなされず、対策が何も講じられていません。失踪実習生の7割が最低賃金未満で月80時間以上の残業を強いられ(野党調査)、実習生の労災死が過去4年間で30人と日本人の2倍以上もあり、安全教育を十分に行わずに建設や製造業など事故が起きやすい職場で働かせる受入れ企業が多い(厚労省)と発表されています。又、病気やケガの補償が不十分で、仕事の約束になかった福島第1原発の除染作業に従事させられた例も報道されています。



◆今起きている問題を放置して、外国人労働者を増やすことはできません。政府は野党の質問に答えず、「詳細は法律ができてから省令で決める」と言います。まるで「白紙委任法案」です。大島衆議院議長さえ、説明

不足に苦言を呈しています。政府は、「今国会最大の法案」と言いながら、僅か17時間15分の審議時間で衆議院を通過させました。TPP法案が70時間46分、共謀罪法案が37時間9分の審議時間でしたが、それらを大幅に下回ります。

◆政府は来年4月からこの法案を実施する予定ですが、報道各社の世論調査でも慎重論が多く、国民は十分な審議を求めています。田原総一郎氏は、「(法案採択は)拙速ではなく暴挙だ」と語り、後藤謙次氏は、「国会は法案自動製造機か」と怒っています。**不明な点、曖昧な点をそのままにした法案成立をやめさせましょう!**



■鳥井一平氏(移住者と連帯する全国ネットワーク代表理事)講演会:「外国人労働者の受け入れと多民族共生社会の実現」  
★12月22日(土)14時~16時、兵庫勤労市民センター(JR兵庫駅のすぐ山側。陸橋を渡って。☎078-576-1307)にて。  
主催:かもめの会・兵庫☎080-3799-4614 参加費500円

NO. 138 (2018年12月6日)

★当チラシ発行責任者: 安保関連法廃止!市民の集い 〒651-2242 神戸市西区井吹台東町1-3-2-2102  
☎080-5631-7699 メールアドレス: oniyamma24@outlook.jp 西 信夫

# ほんとうに、 原発は、必要ですか？

HN【MM】さんからの投稿です

政府と電力会社の  
**ウソ**を見抜かないと  
ダメにゃん！



★原発を廃止した方が良いという意見は、国民の60%以上だと言われています。福島事故以来、そう思っている方が多いのに、どうして政府は、電力会社は、原発を止めないのでしょうか？電力会社の説明を検証してみました。

## 説明1. 原発は、炭酸ガスを出さないの、温暖化を防ぐ働きがある。

**検証1.** 原発は確かに石油や石炭のように炭素を燃やすのではないので、炭酸ガスは出ません。同じエネルギーを得るための炭酸ガス量は莫大に異なります。でも、原発は、そのエネルギーの3分の1しか電気になっていません。残りの3分の2は、熱となって海に放出され海水を温めています。これも温暖化への寄与ではないでしょうか？炭酸ガスだけを見るのは、不公平です。日本で一番南にある川内原発では、稼働中は近くの海に熱帯の魚が住み着いているそうです。黒潮に流された熱帯の魚が住み続けられる条件がそこにあるからです。稼働が止まれば、熱帯魚はいなくなります。



## 説明2. 原発のコストは、安いと経産省が言っている。

**検証2.** 経産省がはじき出している原発のコストには、放射性廃棄物の最終処理までの費用は、入っていませんし、福島のように事故を起こした場合の被害の補償費用もほとんど入っていません。既に8兆円になっているというので、そのような費用を考えれば、決して他の電力に比べ安くはありません。

## 説明3. ウラン燃料はかさばらないので、備蓄すれば安定供給ができ、 大量に備蓄は出来ない石油石炭に比べ、エネルギー安全保障になる。

**検証3.** 原発の場合、その稼働時や既に有る使用済み燃料棒の保管に常に冷却が必要です。冷却が出来なくなれば、爆発を起こします。冷却のためには電気が必要です。1回の自然災害で、或いはテロによって電気の供給がなくなれば、放射能がまき散らされ、人や国土が汚染されます。エネルギーの安全保障とは、短時間の比較でなく、長期にわたる状況を考えて決めるべきではないでしょうか？



## 説明4. 原発を動かさないために電気代が上がりました。 関電は、原発を4基動かしたので、値下げしました。

**検証4.** 関電はこの7月から4%下げたと発表しましたが、これは4人以上の世帯での話で、1人世帯では2%だそうです。  
<https://power-hikaku.info/column/kanden-down.php>  
数%のお金と、地震が起きるたびに事故を心配する事と、どちらをしますか？ということでしょう。事故が起これば、故郷をなくします。福島の悲劇は、今も続いています。自然災害の事故と異なり、放射能の事故は、その影響が子々孫々に残ります。